

第4章 詳細検討区域の活性化手法の検討と課題の分析.....	147
1. 詳細検討区域の抽出と現況把握.....	147
1-1. 奈良県川上村・上北山村（大台ヶ原）.....	149
（1）川上村.....	149
（2）上北山村.....	157
1-2. 京都府南丹市（芦生・美山）.....	165
1-3. 兵庫県宝塚市（宝塚北部）.....	173
1-4. 大阪府能勢町（三草山）.....	181
1-5. 滋賀県近江八幡市（西の湖周辺）.....	191
1-6. 滋賀県高島市（針江・饗庭野周辺）.....	199
1-7. 和歌山県田辺市（田辺・天神）.....	211
1-8. 兵庫県洲本市（淡路島南部）.....	219
1-9. 京都府宮津市（天橋立周辺）.....	227
2. 詳細検討区域の課題と方向性.....	237

第4章 詳細検討区域の活性化手法の検討と課題の分析

1. 詳細検討区域の抽出と現況把握

近畿圏の環境特性を踏まえ、図4-1に示すフローに基づき、詳細検討区域を9区域抽出した。

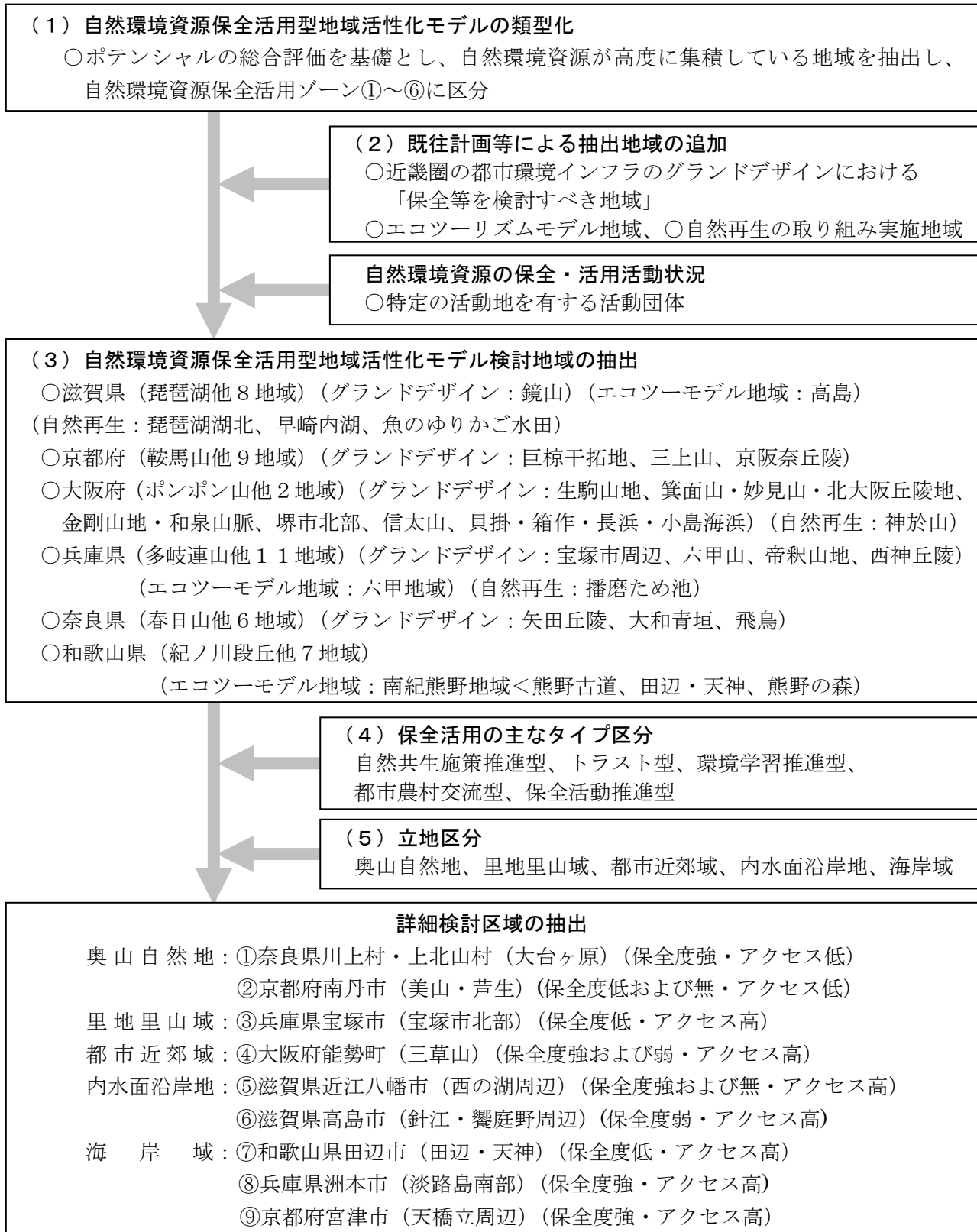


図4-1：詳細検討区域の抽出フロー

詳細検討区域の一覧および分布は、表4-1、図4-2に示すとおりである。

表4-1：詳細検討区域一覧

詳細検討区域	立地区分	保全活用の 主なタイプ区分	自然環境資源保全活用型 地域活性化モデルのタイプ
1 奈良県川上村・上北山村 (大台ヶ原)	奥山自然地	環境学習推進型	アクセス性低・法担保強
2 京都府南丹市(芦生・美山)	奥山自然地	環境学習推進型	アクセス性低・法担保弱 アクセス性低・法担保なし
3 兵庫県宝塚市(宝塚北部)	里地里山域	都市農村交流型	アクセス性高・法担保弱
4 大阪府能勢町(三草山)	都市近郊域	保全活動推進型	アクセス性高・法担保強 アクセス性高・法担保弱
5 滋賀県近江八幡市(西の湖周辺)	内水面沿岸地	都市農村交流型	アクセス性高・法担保強 アクセス性高・法担保なし
6 滋賀県高島市(針江・饗庭野周辺)	内水面沿岸地	自然共生 施策推進型	アクセス性高・法担保弱
7 和歌山県田辺市(田辺・天神)	海岸域	トラスト型	アクセス性高・法担保弱
8 兵庫県洲本市(淡路島南部)	海岸域	保全活動推進型	アクセス性高・法担保強
9 京都府宮津市(天橋立周辺)	海岸域	自然共生 施策推進型	アクセス性高・法担保強

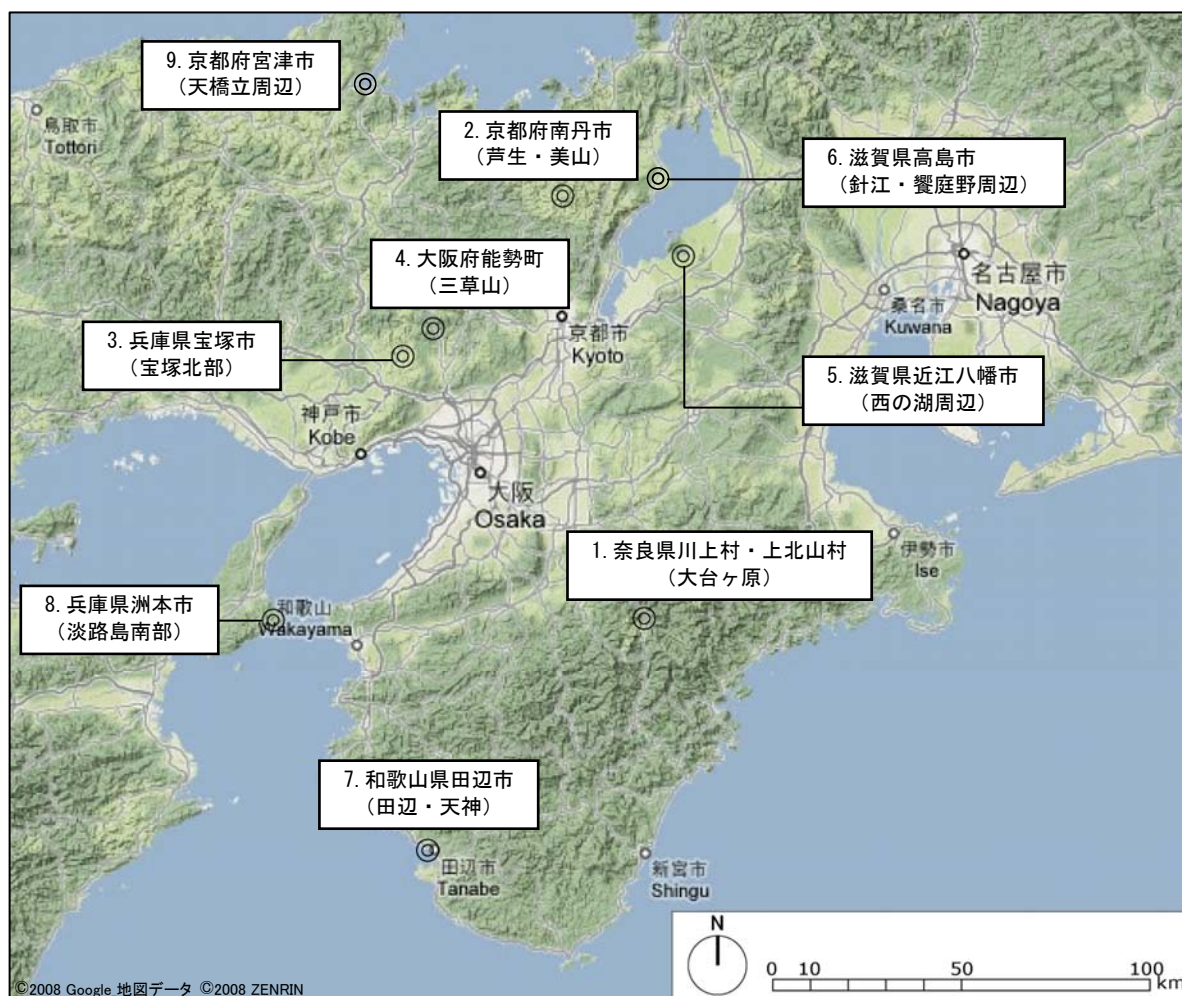


図4-2：詳細検討区域の位置図（ベース図出典：Google マップ）

1-1. 奈良県川上村・上北山村（大台ヶ原）

（1）川上村

①検討区域の概要

- ・ 川上村は奈良県南部に位置し、大台ヶ原山の北側に立地している。検討区域は村中央に位置する白川渡より南の区域で、区域面積は127.02km²である。南北方向に吉野川が流れ、区域中央には大迫ダムが立地している。区域の西と南は山上ヶ岳を主峰とする大峰山系に、東は大台ヶ原に連なる台高山脈に囲まれ、区域内の代表的な山として大普賢岳（標高1,780m）、経ヶ峰（標高1,528m）、白髭岳（標高1,378m）が挙げられる。
- ・ 大阪中心部から約60-70km圏に立地し、区域内には国道169号線が通っている。国道169号は、上北山村との境界で大台ヶ原ドライブウェイと接続し、大阪中心部から大台ヶ原への主要なアクセスとなっている。村内には鉄道路線はなく、公共交通機関では近畿日本鉄道大和上市駅より奈良交通バスでアクセスする。
- ・ 川上村は、木曾檜、秋田杉と並んで、日本の三大人工美林として知られている吉野林業の中心地で、森林面積が村の総面積の97.01%を占めている。森林面積の95%が民有林で、民有林のうち約7割を人工林が占めている。（平成12年4月現在）区域内では、大部分が植林地で、東部には自然林、二次草原もみられる。
- ・ 区域は8町丁に区分され、平成17年度国勢調査では区域内の人口は474人で、北和田の人口が150人と最も多く、上谷の8人が最も少ない。また山間部を中心に人口の高齢化率は50%を超えており、上谷の87.5%が最も高くなっている。（表4-2）
- ・ 観光入込客数は、奈良県、大峰山北部、大台ヶ原ともに過去5年間減少傾向にある。平成14年から平成18年にかけて、大峰山北部では約10万人減少し、大台ヶ原では約14万人減少している。（表4-3）

表4-2：区域内の人口・世帯数・高齢化率

町丁	人口(人)	世帯数(世帯)	高齢化率
上多古	74	37	59.5%
北和田	150	70	52.0%
柏木	120	60	42.5%
神之谷	23	14	69.6%
大迫	22	9	68.2%
上谷	8	7	87.5%
伯母谷	18	7	61.1%
入之波	59	29	33.9%
計	474	233	51.1%

出典：平成17年度国勢調査

表 4-3：観光入込客数の推移（千人）

	奈良県	大峰山北部	大台ヶ原
平成 14 年	35,489.6	878.0	350.2
平成 15 年	35,069.6	817.0	339.0
平成 16 年	34,265.3	780.0	277.0
平成 17 年	34,290.3	764.0	211.0
平成 18 年	35,001.9	773.0	211.0

出典：平成 18 年奈良県観光客動態調査報告書

②自然環境の特性（図 4-3, 図 4-4）

- ・ 検討区域および周辺地域では、特定植物群落や自然景観資源等の自然環境資源が、大峰山系と台高山脈一帯に集積している。北東部にはモミ・ツガ林のまとまった面積の自然林が分布し、三重県大台町との境界にはブナの自然林がみられる。また区域南部は「吉野熊野国立公園」に指定されている。（表 4-4）
- ・ 村内全域には、国指定特別天然記念物であるニホンカモシカや県指定天然記念物のオオダイガハラサンショウウオが生息し、また区域東部には、国指定天然記念物の三之公トガサワラ原始林が位置している。
- ・ 三之公トガサワラ原始林は、トガサワラの巨樹を含む約 10ha におよぶ森林である。トガサワラは紀伊半島中南部と高知県東部にしか分布しない学術上貴重な樹種で、「生きた化石植物」と呼ばれている。
- ・ 川上村では、「水源地の森」として保全するため、1999 年より三之公地区の天然林の村有地化を進めており、現在約 740ha の購入に至っている。標高 480～1,050m の一帯にブナ、モミ、ツガ、トガサワラなどが生育している。

表 4-4-1：区域内および周辺地域の自然環境資源

	種別	資源名	所在地(市町村)
区 域 内	特定植物群落 (分布限界に位置する植物群落、個体群)	大峰山脈原始林	川上村・天川村・上北山村
	特定植物群落 (郷土景観に代表する植物群落)	三ノ公のツガ、トガサワラ林	川上村
	特定植物群落 (郷土景観に代表する植物群落)	金剛寺のウラジロガシ林	川上村
	特定植物群落 (その他貴重な植物群落、個体群)	三重三荷のツガ林	川上村
	自然景観資源	不動窟	川上村
	自然景観資源	明神滝	川上村
	自然景観資源	吉野川上流本沢川一帯	川上村
	自然景観資源	吉野川上流本沢川支流白倉谷一帯	川上村
	その他自然環境資源	水源地の森(三之公天然林)	川上村
	その他自然環境資源	屏風滝	川上村
	文化財(有形文化財)	金剛寺	川上村
	文化財(史跡・名勝)	カクシ平(行宮跡)	川上村
	文化財(天然記念物)	三ノ公川トガサワラ原始林	川上村
文化財(天然記念物)	不動窟鍾乳洞	川上村	

表 4-4-2 : 区域内および周辺地域の自然環境資源

	種別	資源名	所在地(市町村)
区 域 内	文化財(天然記念物)	明神滝岸壁植物群落及び周辺保護林	川上村
	世界文化遺産	紀伊山地の霊場と参詣道・大峯奥駈道	川上村・天川村・上北山村 他
	その他歴史・文化的資源	五色湯跡	川上村
	その他歴史・文化的資源	釜の公吊り橋	川上村
	その他歴史・文化的資源	阿弥蛇ヶ森	川上村
周 辺 地 域	特定植物群落 (原生林もしくはそれに近い自然林)	大台ヶ原山原始林	上北山村
	特定植物群落 (原生林もしくはそれに近い自然林)	針ノ尾自然林	上北山村
	特定植物群落 (原生林もしくはそれに近い自然林)	大杉谷のブナ林	大台町
	特定植物群落 (郷土景観に代表する植物群落)	粉尾十二社神社のウラジロガシ林	川上村
	特定植物群落 (その他貴重な植物群落、個体群)	池小屋山原生林	川上村
	自然景観資源	琵琶の滝	川上村
	自然景観資源	水練	上北山村
	自然景観資源	阿古滝	天川村
	自然景観資源	巴滝	大台町
	自然景観資源	三滝	大台町
	自然景観資源	笙ノ窟	上北山村
	文化財(天然記念物)	宗像神社のコウヤマキ林	川上村
	その他歴史・文化的資源	歴史の証人(下多古村有林)	川上村
	その他歴史・文化的資源	笙ノ窟	上北山村

③自然環境資源の保全・活用活動状況 (図 4-5)

- ・ 検討区域内には、「水源地の森」、入之波温泉、大迫ダムづくり公園などの施設がある。また区域周辺には国道 169 号線沿いに白川渡オートキャンプ場があり、川上北西部の川上村役場周辺には道の駅「杉の湯川上」や「森と水の源流館」などの施設がある。(表 4-5)
- ・ 川上村では、1996 年に「川上宣言」を発信し、「水源地の森」の購入、「(財)吉野川紀の川源流物語」の設立、和歌山市との「水源地保護に関する協定書」調印等の取組みを展開している。
- ・ (財)吉野川紀の川源流物語では「水源地の森」の森林の管理・調査を担っている。また年に数回、ガイドツアー「水源地の森ツアー」を実施し、参加費の一部を環境協力金として「水源地の森」の保全活動や小学生の教材づくりの募金にあてている。(表 4-6)
- ・ 山の学校「達っちゃんクラブ」は、川上村の取組みの一環として、自然体験活動を通じた都市との交流を行い地域の活性化を図ることを目的に、平成 10 年に発足した。自然観察会やリース・注連縄づくりなど多彩な自然体験プログラムを、月に 1 回実施している。(表 4-6)

表 4-5：区域内および周辺地域における主な自然体験施設・活動拠点施設

	施設名称	所在地	施設概要
区内の施設	水源地の森	川上村 神之谷	川上村の東端に位置する、「水源地の森」の保全を目的として川上村が村有地化を進めている三之公地区の天然林。標高は 480～1050m の一帯にブナ、モミ、ツガ、トガサワラなどの樹木が生育している。年に数回、ガイドツアー「水源地の森ツアー」が実施されている。
	入之波温泉	川上村 入之波	大迫ダムのほとりに位置し、江戸・元禄年間方湯治客の往来が伝えられる歴史ある温泉。「山鳩湯」と公営の「五色湯」の 2 軒の旅館がある。
	大迫ダムづり公園	川上村 入之波	大迫ダムの湖岸に位置し、浮き桟橋でのヘラブナやブラックバス釣りが楽しめる公園。
周辺施設	白川渡オートキャンプ場	川上村 白川渡	吉野川支流に面する、全面芝生貼のキャンプサイト。20 面あり AC 電源を完備している。管理棟のシャワー室、コインランドリーも利用できる。

出典：川上村資料

表 4-6：区域内における主な自然環境資源保全・活用団体

団体名称	フィールド	活動内容	備考・出典
(財)吉野川・紀の川源流物語	水源地の森	水源地の森の管理・調査、自然観察会等の実施	森と水の源流館・水源地の森資料
山の学校「達っちゃんクラブ」	検討区域全域	村内の森林や滝へのハイキング・郷土料理づくり等、自然体験プログラムの実施	第1回「山村力コンクール」受賞(平成 18 年)



水源地の森



大迫ダムづり公園

出典 左：(財)吉野川・紀の川源流物語資料、右：川上村資料

詳細検討区域
 市町村界
 農業集落帯

自然環境特性
 自然草原
 自然林
 二次林
 樟林地
 二次草原
 農耕地
 市街地等
 開放水域

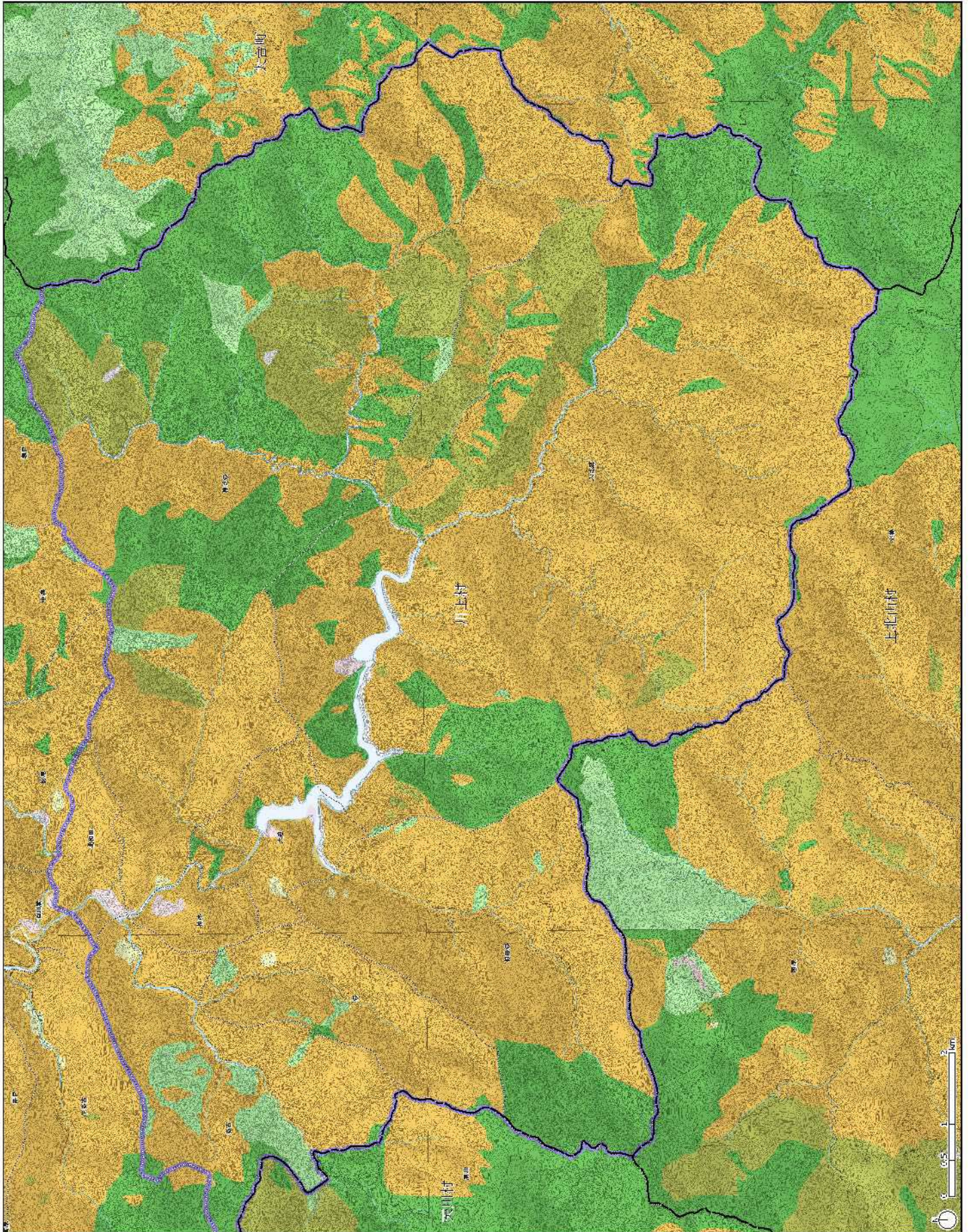


図4-3：自然環境特性
 自然環境特性
 奈良県川上村
 (大台ヶ原)

詳細検討区域
 中町村界
 農業集落帯

自然公園
 国立公園
 特別地域
 特別保護地区
 鳥獣保護区
 指定保護地区
 特別保護地区
 保安林
 固有林

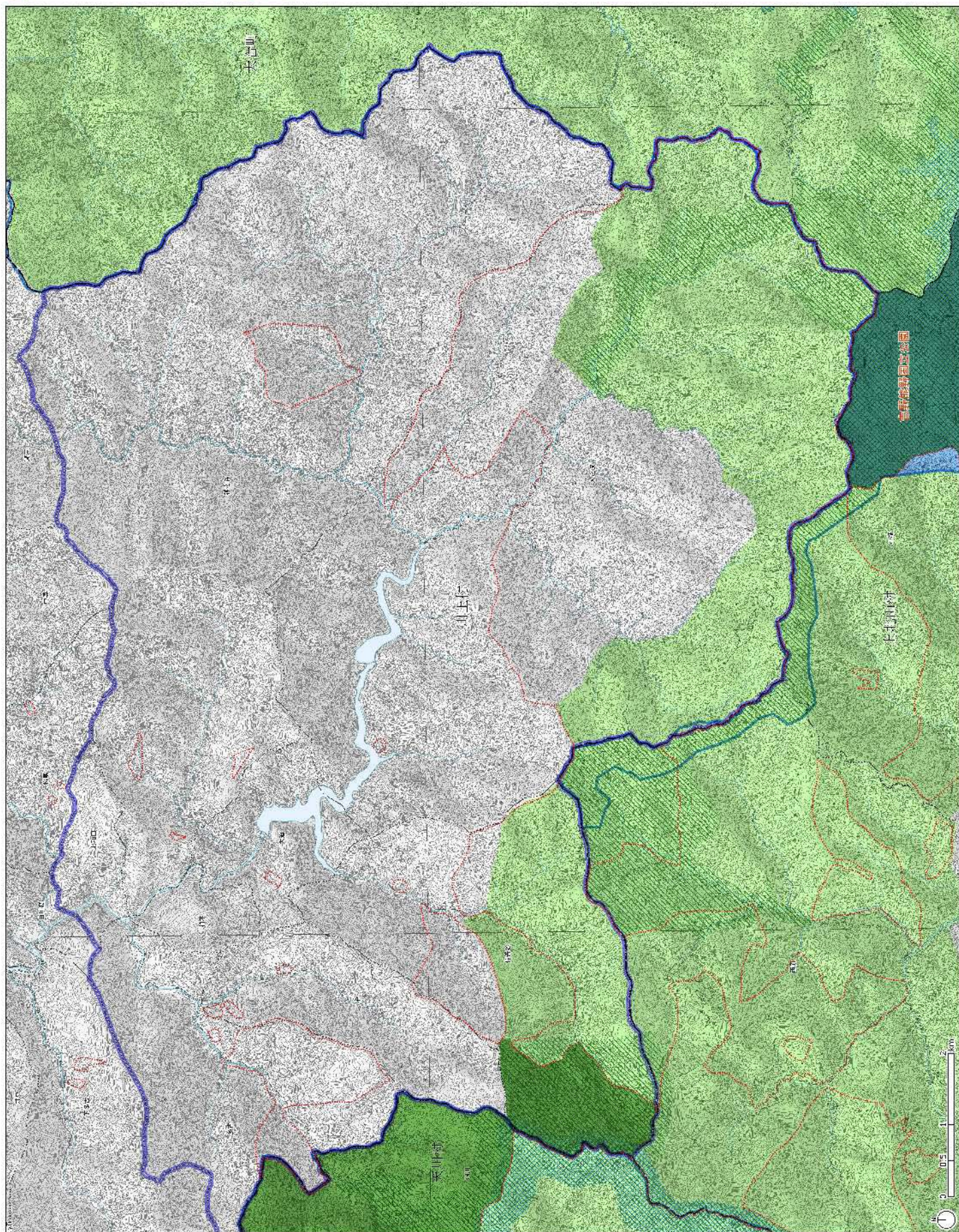
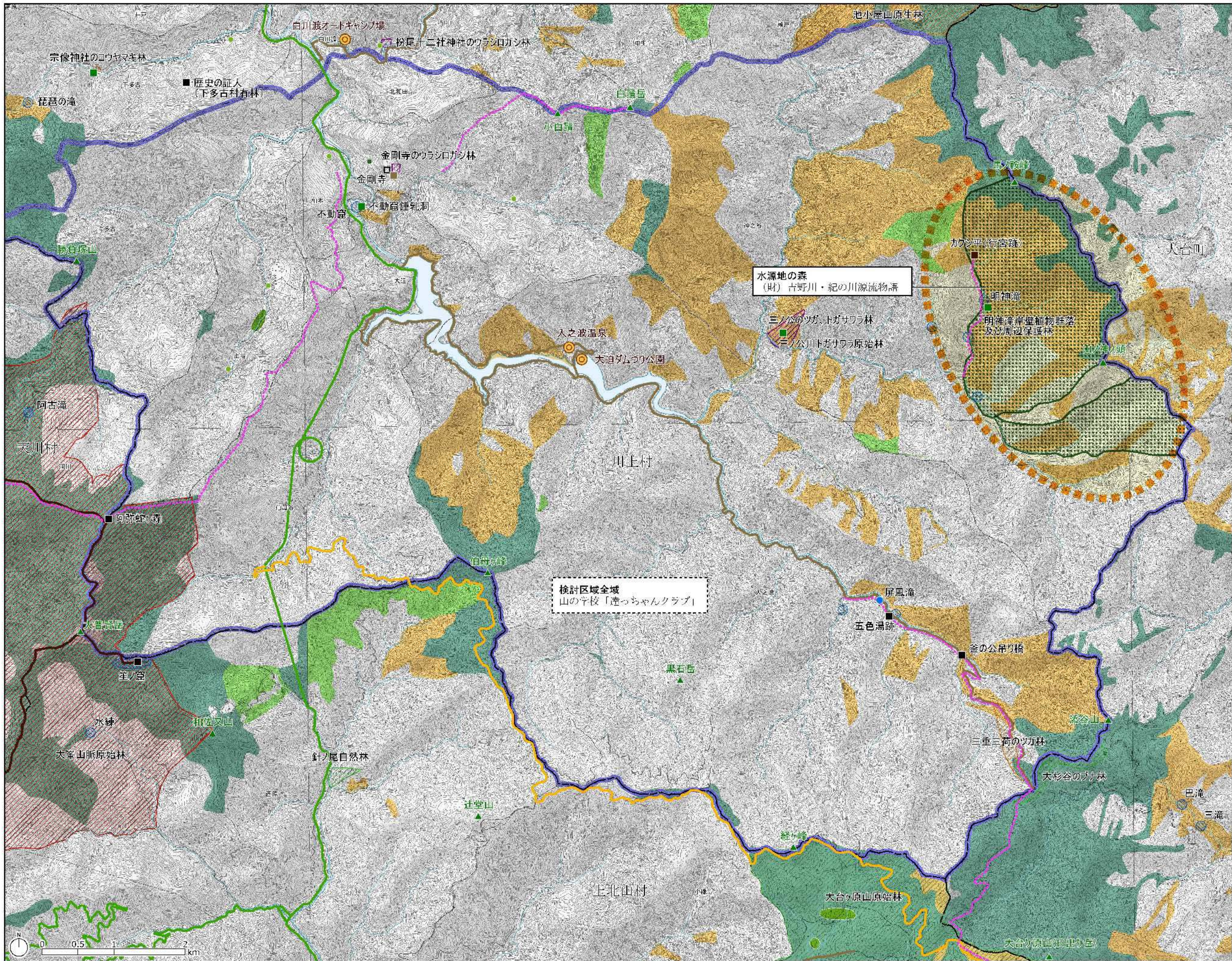


図 4-4：法規制等状況

法規制等状況
 奈良県川上村
 (大台ヶ原)



- 詳細検討区域
 - 市町村界
 - 農業集落界
 - 国道
 - 主要地方道
 - 県道・主な幹線道路
-
- 自然林**
 - モミ・ツガ林
 - ブナ林
 - ブナ・ミズナラ群落
 - その他自然林
 - 特定植物群落 (主な選定理由※)**
 - 原生林もしくはそれに近い自然林
 - 分布限界に位置する植物群落、個体群
 - 郷土景観を代表する植物群落
 - その他貴重な植物群落、個体群
 - 自然景観資源**
 - 巨樹・巨木林
 - 巨樹・巨木林 (保護制度あり)
 - 巨樹・巨木林 (保護制度なし)
 - 水源地の森 (三之公天然林)
 - ▲ 主な山頂
 - その他自然環境資源
 - 文化財 (国、県、市町指定)**
 - 有形文化財 (建造物)
 - 記念物 (史跡・名勝)
 - 記念物 (天然記念物)
 - 世界文化遺産
 - 紀伊山地の霊場と参詣道・大峯奥駈道**
 - 古墳・城跡等
 - 主な社寺
 - その他歴史・文化的資源
 - 自然体験施設・活動拠点施設等
 - 山歩きコース
(出典: 奈良・川上村ガイドマップ)
 - 主な自然環境資源保全・活用団体の活動地

図4-5: 自然環境資源と保全・活用活動

自然環境資源と保全・活用活動
 奈良県川上村
 (大台ヶ原)